

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	利用者や家族などが意見要望など運営に反映しやすいように意見交換の場を設けてはどうか？	運営推進会議の日を利用して家族の意見がより出やすい場を設定する。	早速10月の運営推進会議において家族会立ち上げの意義を話し持ちかけたが、ご家族より運営推進会議が自由に意見が出せる雰囲気でありこの場だけで十分ではないかとの意見が出た。しかし、今後も必要性を家族に伝え、些細な意見も遠慮なく言える場を作る働きかけをしていく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けあけぼのでは看取りは行わない方針であるが、書面に明記されていない。	あけぼのでは重度化や終末期に向けてのケアを行わない方針であることを書面に明記しご家族へ入居時に説明していく。	あけぼのに対応できない“重度化”について詳細を明文化するため、管理者や相談員などで検討し書面を作成する。	6ヶ月
3	49	家族の協力で買い物や食事に出かける利用者もいるが、日常的に戸外へ出かける機会が少ない。	身体機能の低下が伺える利用者もいるが、日常的な外出の機会を少しでも増やしていく。	ドライブや法人内行事の参加継続と、職員と身近な法人内の売店での買い物や老健内へ散歩に行ったり、またご家族の協力を得て外出したりする機会をプランにも加えながら、今よりも頻回に外出を実施していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。